

平成30年度 事業計画書

I 基本方針

栽培漁業による水産振興を図るため、「つくり育てる漁業」を推進する魚類・甲殻類・貝類の各種苗を生産し、必需者に供給するとともに、放流を行います。平成30年度は、県水産振興センター栽培漁業施設の更新工事の影響を受け、生産棟が使用可能となる時期が4月下旬と見込まれ、ヒラメは早期受精卵による種苗生産ができないこと、また、加温設備を備えた飼育水槽の容積が、平成29年度の約4割となることから、県水産振興センター増殖部との間で使用調整を行いましたが、十分な数・容積を確保できないこと、そして県水産振興センターから供給を受ける初期餌料のワムシについて、供給のピーク時に不足が懸念されることから、総合的に判断し、一部の種類で種苗の生産数量を抑制します。

II 各事業の実施計画

1 栽培漁業啓発普及事業

① 第27回放流式の開催

開催日：平成30年9月11日（火）時刻は未定

会場：秋田県漁業協同組合南部総括支所（金浦漁港）

② 協会の事業内容を広く周知し、理解を得るためホームページで情報発信します。

URL <http://akita-saibai.com/>

2 受託事業

秋田県水産振興センターが飼育している水産動物の飼育管理業務を受託します。

マダイ親魚、ヒラメ親魚、ガザミ種苗、アユ種苗、トラフグ種苗、キジハタ稚魚等

3 補助事業

① 広域種資源造成型栽培漁業推進事業（公社）全国豊かな海づくり推進協会補助事業（日本海北部海域栽培漁業推進協議会）

ヒラメ 4の③に再掲

② 栽培漁業総合推進対策事業（放流効果実証事業） 秋田県補助事業

マダイ、ヒラメ 6の①②③に再掲

4 種苗生産・供給事業

① クルマエビ（県水産振興センター栽培漁業施設を使用）

放流用 秋田県内漁協配布 25mm 660千尾

放流用 県外（新潟、山形、青森） 25mm 443千尾

計 1,103千尾

② エゾアワビ（当協会アワビ種苗生産施設（にかほ市象潟町））		
放流用	秋田県内各漁協配布	20mm 330千個
放流用	秋田県内各漁協配布	30mm 224千個
放流用	県民総合リレー放流事業	30mm 2千個
計		556千個

③ ヒラメ（県水産振興センター栽培漁業施設を使用）		
放流用	秋田県内漁協	50mm 22千尾
放流用	県民総合リレー放流事業	50mm 6千尾
放流用	広域種資源造成型栽培漁業推進事業	80～120mm 40千尾
養殖用	個人配布	200mm 1.2千尾
計		69.2千尾

④ クロソイ（県水産振興センター栽培漁業施設を使用）		
養殖用	個人配布	80mm 0.8千尾

⑤ マダイ（県水産振興センター栽培漁業施設を使用）		
放流用	県民総合リレー放流事業	80mm 4千尾

5 種苗斡旋供給事業

県水産振興センターで生産したガザミ種苗を斡旋し、供給します。

① ガザミ		
放流用	秋田県内各漁協に配布	5mm 2,065千尾

6 放流効果実証事業

マダイ、ヒラメの種苗生産、中間育成、放流及び市場調査を行います。

① 種苗生産（県水産振興センター栽培漁業施設を使用）		
マダイ	30mm	250千尾 (4の⑤分を含む)
ヒラメ	25mm	300千尾 (4の③分を含む)

② 中間育成及び放流数		
マダイ	85mm	150千尾
場所：県内2箇所の漁港、県水産振興センター栽培漁業施設		
ヒラメ	80mm	100千尾
場所：当協会ヒラメ中間育成施設（八峰町八森）、県水産振興センター栽培漁業施設		

③ 放流効果調査（市場調査）		
県内各漁協に出向き、マダイ、ヒラメの漁獲量に占める放流魚の状況を産地市場で調査します。		
秋田県内各漁協	平成30年4月1日～平成31年3月31日	

